

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 当院の月経困難症専門外来を受診した10代患者における検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 産婦人科 職位・氏名 教授・田中京子

### 【試料・情報の利用目的】

月経困難症とは、月経時に伴って起こる様々な症状のことです。例えば、下腹部の痛み、腰痛、吐き気、頭痛、疲労、脱力感、食欲不振、イライラ、下痢、憂鬱などが起こる可能性があります。月経困難症には原因疾患のない機能性月経困難症と、子宮筋腫や子宮内膜症などが原因となっている器質性月経困難症があります。治療は鎮痛剤や漢方薬、ホルモン治療など多岐に渡りますが、治療薬の選択肢が成人女性より限定される10代の方における治療を積極的に行っていない医療機関も多いのが現状です。当院では2021年7月に月経困難症(生理痛)専門外来を設立してから、多くの月経困難症をかかえる様々な年代の患者さんの診療を行ってきました。

そこで、当院を受診した月経困難症のある10代の患者さんのデータを集計する事で、若年の月経困難症の診断や治療に役立つと考えました。

本研究では、東邦大学医療センター大橋病院産婦人科において、2021年7月から2022年10月までの間に月経困難症(生理痛)専門外来を受診した30人ほどの10代の方を対象に、2025年3月31日までを観察期間として、診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

取得した情報は10代の月経困難症のある患者さんにおいて、年齢、受診のきっかけになった症状、治療方法やその効果、副作用などを集計する事で、若年女性における月経困難症の診断や治療を発展することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、若年女性の月経困難症治療の発展につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

試料:なし

情報:病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年2月より利用を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他機関への提供は行いません。

### 【試料・情報の取得方法】

対象者:2021年7月～2022年10月までに東邦大学医療センター大橋病院産婦人科において、月経困難症(生理痛)専門外来を受診した10代の方、約30名  
方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

**【研究組織】**

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院  
研究代表者:田中京子 役職:教授

**【利用する者の範囲】**

東邦大学医療センター大橋病院 産婦人科

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院 産婦人科

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年5月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。また未成年に該当される場合には代諾者の方からのご連絡も可能です。  
申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 産婦人科

職位・氏名 教授 田中 京子

電話 03-3468-1251